Zennoh-akita agriculture+reform
Za・あぐりふぉーむ
2026.1.7
Vol.71
バックナンバーはコチラ↓

営農支援情報

令和７年産米の作柄について

１．秋田県の令和７年産米の作柄

１２月１２日に農林水産省東北農政局が発表した今年度の秋田県産米の作況単収指数は**「１０３」**、収量は５５９ｋｇ／１０ａ※となりました。

今年の県内の水稲作付面積は８９,２００ｈａで、前年より５,０００ｈａ増加しています。このうち主食用作付面積は８１,２００ｈａで前年より９,０００ｈａ増加しました。主食用米の収穫量は４５３,９００ｔ、前年産より５５,４００ｔ増加となりました。 ※生産者使用ふるい目幅を基準としています。

作況指数
１０３

秋田県の収量
５５９ｋｇ／１０ａ

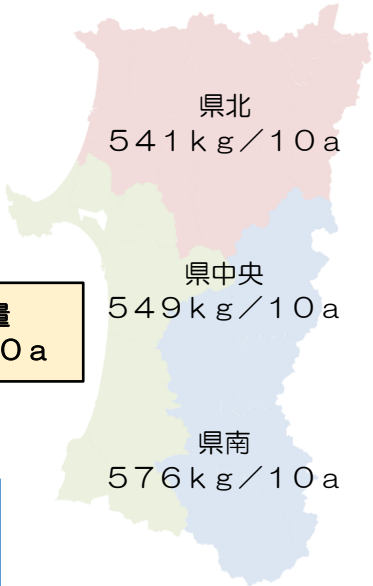

図１　令和７年産米の作柄

作況単収指数とは
※農林水産省が２０２５年から導入したコメの水田面積１０ａ当たりの出来具合を示す指標です。直近５年間の収量の最も多かった年と少なかった年を除く３年間の平均値と当年産の単位面積あたりの収量を比較して算出されます。

２．令和７年産米の生育状況

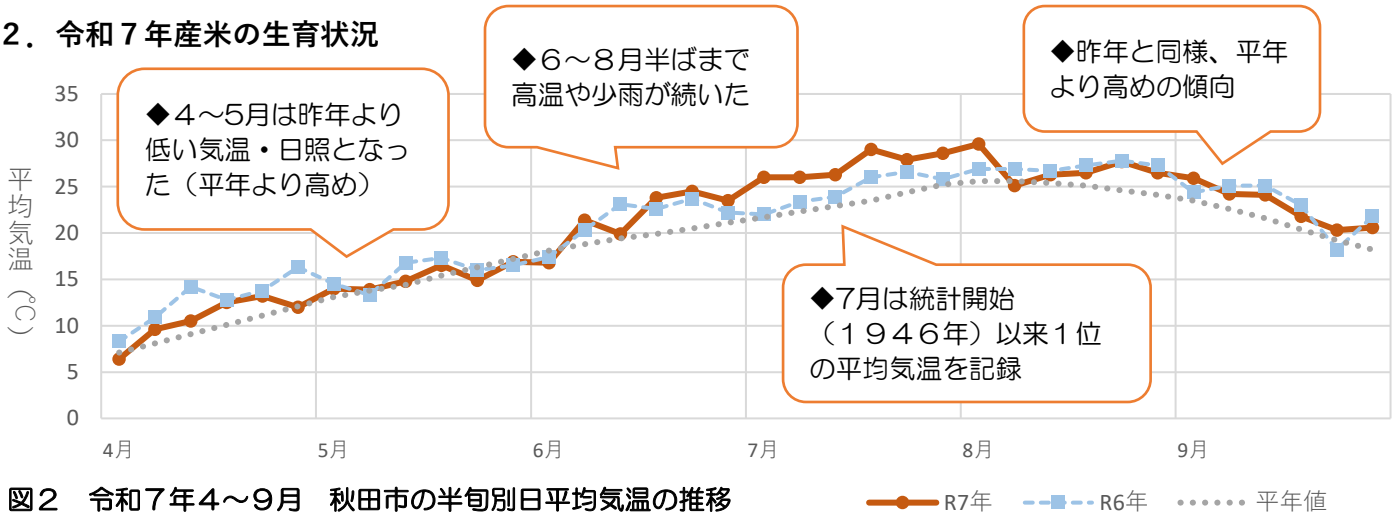

図２　令和７年４～９月　秋田市の半旬別日平均気温の推移

（１）７年産米の生育概況

作付面積を前年度よりも増やし、７月の干ばつや８月半ば頃から９月にかけて大雨があったものの総じて天候に恵まれ、全もみ数及び千もみ当たり収量が前年並みとなったことが主食用米の収量の増加につながりました。

図１の平均気温の推移（秋田市）からわかるように、７月の平均気温が統計開始以来１位となるほどかなり高く経過し、晴れの日が多くなりました。この高温傾向により６月２半旬以降分げつの発生が促進されましたが、初期分げつが確保出来なかった影響もあり、茎数が４５４本／㎡（平年比９３％：７／４計測）と平年より少なくなりました。

高温傾向に伴い水稲の出穂期（７月下旬）が平年より早まり、刈り取り適期も早まりました。

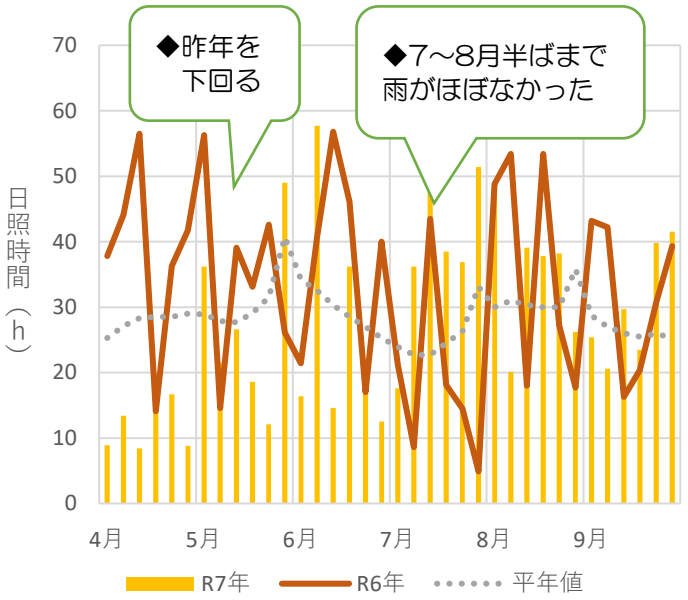

図３　令和７年４～９月　秋田市の半旬別積算日照時間

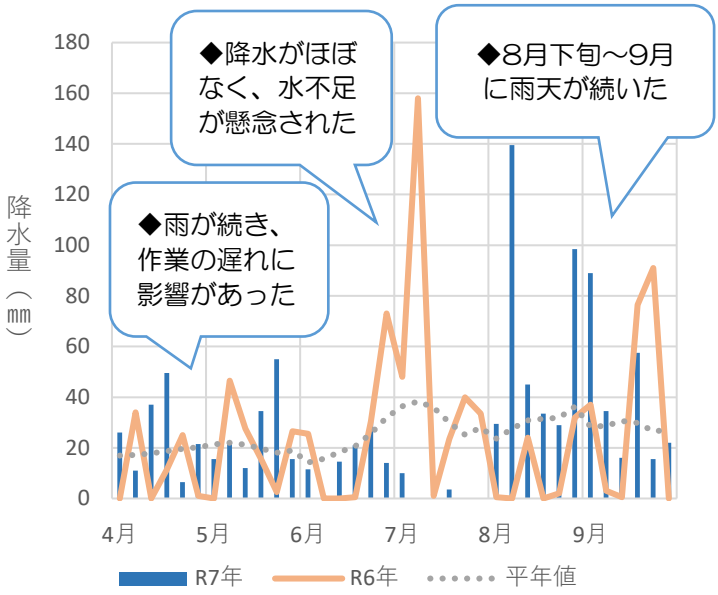

図４　令和７年４～９月　秋田市降水量の推移

令和７年は、４月から６月上旬まで続いた少ない日照時間、それから高温・少雨と移り変わり、さらに８月中旬からは水不足から急な大雨などがあり、気象の変動が大きな年となりました。しかし総じて晴れの日が続き、さらに３年連続となった高温への対策が功を奏して１等米の比率は高くなりました。

（２）令和７年産米の品質

東北農政局が発表した令和７年産の検査結果において、**１等米比率は９２.５％**となりました。令和５年産・６年産で多く発生した**着色粒**や**形質不良**の割合が改善し、すべての品種において品質が向上しています。

品種	検査数量（トン）	等級別比率（%）			
		１等	２等	３等	規格外
あきたこまち	222,885	93.0	5.5	0.8	0.7
サキホコレ	7,317	99.0	0.5	―	0.5
ひとめぼれ	13,443	96.2	3.4	0.3	0.1
めんこいな	15,823	92.0	7.0	0.8	0.2
ゆめおばこ	5,138	92.2	6.9	0.5	0.4

表　令和７年産米の検査結果（１０／３１現在、東北農政局）

３．令和８年産に向けた対策

昨今の傾向から、特に６月～８月頃に高温となる可能性があります。降水量も不安定となり、梅雨期の少雨による干ばつや夏季の突発的・長期の豪雨に備えてください。また、高温多湿の環境では葉いもち病・斑点米カメムシ類が増加する可能性が高くなります。

秋田地方気象台が発表している２週間気温予報や１ヶ月予報等で最新の気象状況を確認しながら、適切な水・肥培管理の選択を行ってください。

JA全農あきた公式ホームページはコチラ！
公式インスタ 秋田の農業応援団！
JA_ZENNOH_AKITA
美人を育てる 秋田米【公式】
BIJINAKITAMAI
営農支援部 営農支援課　☎018-880-1011

Zennoh-akita agriculture+reform
Za・あぐりふぉーむ
ＪＡ全農あきた営農情報誌 Ｚａ・あぐりふぉーむ
第71号　令和8年1月7日発行
編集・発行 ＪＡ全農あきた営農支援部営農支援課 〒011-0901秋田市寺内字大小路207-24 018-880-1011